

事業の概況

■ 預金

預金は、半期中72億43百万円増加し、中間期末残高は5,499億80百万円となりました。このうち普通預金は、半期中93億33百万円増加し、中間期末残高は3,912億42百万円となりました。

■ 貸出金

貸出金は、半期中41億32百万円増加し、中間期末残高は385億13百万円となりました。これらはすべて個人向け貸出金であります。

■ 有価証券

有価証券は、半期中483億56百万円減少し、中間期末残高は4,135億18百万円となりました。このうち国債は517億28百万円であります。

■ 損益の状況

収益につきましては、貸出金残高の増加に伴い貸出金利息が増加し、資金運用収益が増加しました。Visaデビット、スポーツ振興くじ(toto)、宝くじ等に係る手数料が増加し、役務取引等収益が増加しました。国債等債券売却益が増加しましたが、外国為替売買益が減少し、その他業務収益が減少しました。投資信託売却に伴う株式等売却益が減少し、その他経常収益が減少しました。

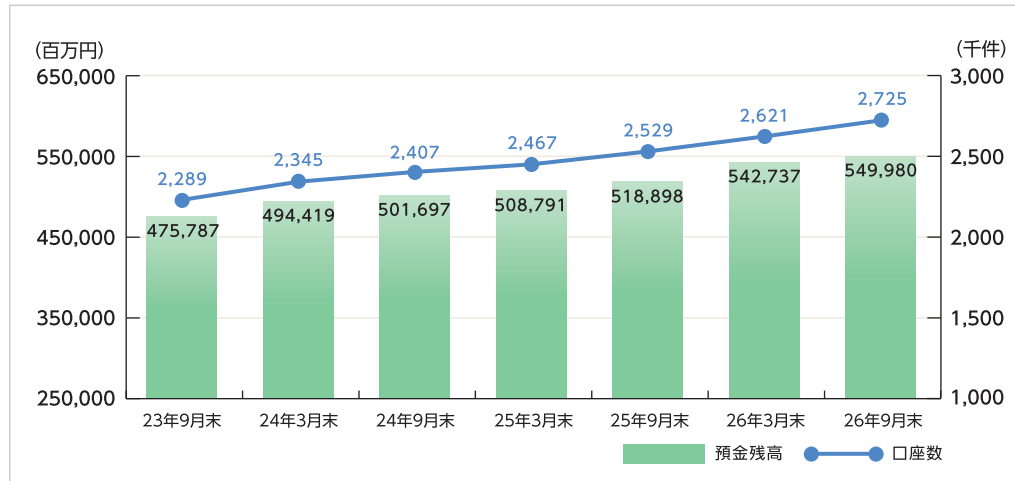
これらにより経常収益は、前中間期比11億51百万円減少し、106億10百万円となりました。

費用につきましては、外貨預金の取扱開始に伴い預金利息が増加し、資金調達費用が増加しました。貸出金残高の増加に伴い支払保証料が増加し、役務取引等費用が増加しました。国債等債券売却損が減少し、その他業務費用が減少しました。投資信託売却に伴う株式等売却損が減少し、その他経常費用が減少しました。新商品・新サービスのリリースにより減価償却費が増加したほか、広告宣伝費が増加し、営業経費が増加しました。

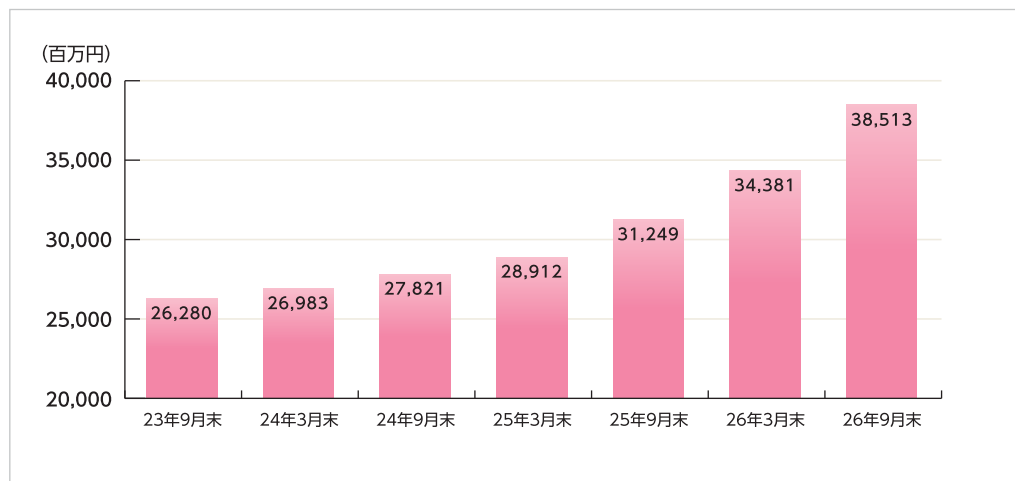
これらにより、経常費用は前中間期比6億86百万円増加し、95億46百万円となりました。このほか、システム機器更改に関連した固定資産処分損15百万円、法人税等3億47百万円を計上いたしました。

以上の結果、当中間期の経常利益は10億64百万円、中間純利益は7億円となりました。

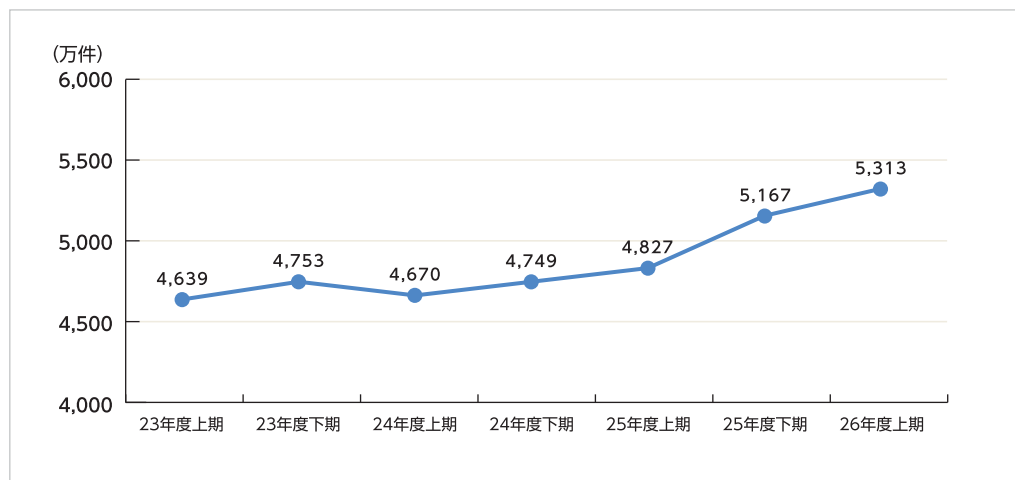
■ 預金残高と口座数の推移



■ 個人向けローン残高の推移



■ 決済件数*の推移



*通常の振込とXMLを利用した即時決済取引、toto・宝くじ決済取引およびJNB Visaデビット取引の合計件数